

学校経営ビジョン

開校：昭和23年10月1日

校章制定

校旗制定：昭和28年3月15日

校歌制定：昭和30年9月5日



①昭和26年4月10日

②昭和30年～

③昭和34年～

④平成4年～

(開校の精神) <人材を以て資源となす>

地域産業振興のため貢献しうる有為な産業人の育成を目指し、「人材を以て資源となす」を教育の基本理念とする。

校章の意味として考えられる事

<稲穂と羽ペン> (校歌4番歌詞)
『稲とペンとに、身も魂も鍛えて強くたくましく進まん我等南農。』

稲穂は農業の主幹であり、農業教育の目標と農業に生きる使命を表現している。

<校訓について>

「誠実」「博愛」「明朗」「勤労」

「誠実」；真心をもって人や物事に接する

「博愛」；すべての人に平等に愛情を注ぐ

「明朗」；こだわりなく明るくほがらかに

「勤労」；心身ともに勉学・実習に励む

1 本校の役割 (学校の使命・存在意義)

↓ スクール・ミッション

- 1 専門教育を通し、自己の在り方生き方を考え、地域に貢献できるよう主体的に進路を選択する生徒の育成。
- 2 将来のスペシャリストに必要な資質・能力を育て、農業の担い手及び関連従事者、農業を支援する人材の育成。

2 教育目標

- 1 憲法、教育基本法、学校教育法等の諸法令に則り、県の教育施策を踏まえ、自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな心と健やかな体を育成し、郷土の文化と伝統に誇りを持つ創造性・協調性に富む人材を育成する。
- 2 農業に関する専門教育を通して、産業に対する視野を広め、基礎的な知識・技術を習得させ社会に貢献できる心身ともに健全な産業人を育成する。

3 目指す学校像

特色ある教育活動をとおして、地域に信頼される学校

- 1 自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校
- 2 地域から信頼され、将来の地域社会に貢献する生徒を育てる学校
- 3 笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校
- 4 地域文化の継承と地域の課題を探究する生徒を育てる学校

4 三つの方針 (スクール・ポリシー)

1) 「育成を目指す資質・能力に関する方針」

- ①挨拶や正しい身なり・言葉づかい等「凡事徹底」ができる生徒。
- ②「農業」学習を通して、他者を思いやり協働することができる生徒。
- ③何事も最後までやり通し、あきらめない粘り強さがある生徒。
- ④進むべき進路について自ら判断し、決定できる行動力がある生徒。

2) 「教育課程の編成および実施に関する方針」

- ①基礎的・基本的な教育活動を重視し、生徒一人ひとりに応じた教育を充実させる
- ②農業教育を通して、科学性、社会性、指導性の育成と課題解決能力の育成を重視する
- ③多様な進路に対応できる選択科目や「学校設定科目」等の取組を充実させる
- ④地域と連携を図り、実践的・体験的な教育活動を推進する

3) 「入学者の受入れに関する方針」

- ① 南農生として自分自身を成長させる意欲のある人
- ② 思いやり、助け合う心を持って、他者と関わる事のできる人。
- ③ 周りに流されない強い意志を持った人。

教育方針

- 1 自他の生命と人格を尊重し、共生・敬愛する精神と自ら学ぶ意欲と態度を育てる。
- 2 基礎的・基本的な学習内容を重視し、個に応じた教育の充実に努める。
- 3 農業教育の充実に努め、科学性、社会性、指導性の育成に努める。
- 4 国際理解を深め、郷土の文化と伝統を尊重する態度の育成に努める。
- 5 将来の社会生活に必要な職業観・勤労観を養い、地域社会に貢献できる人材の育成に努める。
- 6 生徒と教師の望ましい人間関係を築き、楽しい学校づくりに努める。

経営方針

- 1 全職員の教育的実践を通して、調和のとれた学校経営に努める。
- 2 基礎的・基本的学習の徹底により「わかる」「できる」「挑戦する」という意識・意欲を高め、南農生としての自信と誇りを醸成し、進路を主体的に選択できる能力と態度を育てる。
- 3 社会や環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育と安全教育の推進に努める。
- 4 コミュニケーション能力及び豊かな人間性の育成を図り、農業や地域産業の発展に主体的に寄与する態度を育てる。
- 5 特別支援教育の視点で授業のユニバーサル・デザインを推進する。
- 6 学習環境を整備し、施設・設備等の教育条件の充実に努める。
- 7 学校・家庭・地域社会と連携した教育の充実に努め、生涯学習と生徒の健全育成に努める。
- 8 望ましい人間関係と職員相互の敬愛の心で、働きがいのある職場づくりを推進する。
- 9 教職員としての使命と職責を自覚し、安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。

努力目標

生徒指導・支援の充実	進路指導・支援の充実	校訓の体現
①規範意識の向上 ②授業態度の育成 ③安全指導の徹底 ④ユニバーサルデザインの充実 ⑤中途退学対策の継続 ⑥携帯電話の使用マナーの徹底 ⑦アルバイト指導の徹底 ⑧居場所づくりの連携・活用	①組織的・系統的指導の推進 ②学力向上対策の強化 ③キャリア教育の充実 ④職場見学や開拓の推進 ⑤インターンシップの充実 ⑥科目「ベーシック」の効果的な実施 ⑦各種講座の開設と指導充実 ⑧資格取得に向けた指導強化 ⑨情報化・国際化への対応	①農業教育を基盤とした学習の充実 ②凡事徹底の推進・充実 ③望ましい生活習慣の確立 ④部活動の継続と加入促進 ⑤読書活動と図書館活動の充実 ⑥家庭学習の定着
学校の活性化	教職員の資質向上	信頼される学校づくり
①学科、学年会、HR の連携 ②生徒会活動の充実・支援 ③農業クラブ活動の充実 ④家庭クラブ活動の活発化 ⑤学習環境の整備・充実	①研究活動の推進 ②教職員研修の充実 ③教育課程の研究推進 ④生徒同士の学びの活発化 ⑤学力保障と進路保障 ⑥危機管理・回避能力の養成 ⑦事務の適正な運営・管理	①服務規律の遵守、意識向上 ②PTA活動の充実 ③学校評議員との連携 ④学校保健委員会の充実 ⑤同窓会との連携 ⑥中学校や各種外部団体との連携 ⑦関係教育機関との連携

- ◎ 本校の課題及び最重要努力事項
 「新学習指導要領に対応した教育課程編成及び授業改善と授業力の向上」
- 今年度の取組・課題
 - ①生徒指導の充実 ②生徒の確保（募集等） ③指定研究「就職指導」の推進
 - ④ICT教育の推進 ⑤教育課程・学習評価の検討 ⑥GAP・HACCPの取組
 - ⑦働き方改革の実効性の向上 ⑧校務分掌の検討 ⑨内規の検討 ⑩農業祭の開催
 - ⑪沖縄県農業教育研究会事務局校 ⑫